

議長抱負

なか ひろき
中 箴 博 之

このたび、思いもかけず高山市議会議長の重任を拝命し身の引き締まる思いでいっぱいです。「名誉職」ではなく「責任職」としての議長の職責をまっとうできるような覚悟をもって向き合う所存です。

新型コロナウイルス感染症による閉塞感を打ち破るような建設的な議論、是々非々の姿勢を貫く中での活発な議論を強く意識しつつ、行政ともベクトルを共有し緊張感あるバランス感覚の中で、全体最適としての意思決定の品質保証ができる責任ある議会の構築に向け努力してまいります。

■議会のあるべき姿

- ・ 議会は生活者の側に立ち、生活現場の声を代弁する
- ・ 議会を活性化させることが、結果として市民の皆様の利益や幸福につながる
- ・ 二元代表の一翼として、市長とベクトルを共有する中で「善政競争」に努める

その信念に基づき、全議員の協力をいただきながら、公平・中立の立場で「チーム議会」としての秩序を保ちつつ議会の機能強化に努めてまいります。

■議員定数・報酬の課題は年度内に結論

議員の任期も残り2年を切った中で、これまで議論を重ねてきた議員定数・報酬というテーマについて、年度内には最終的な結論を導き出す覚悟です。

そのために、若者や女性、各種団体などを含む幅広い市民の皆さまと意見交換会を行うとともに、識見の高い専門家を交えた「議員定数・報酬を考えるシンポジウム」を開催し、あるべき議会の姿について共通認識を図りたいと考えています。多くの皆さまのご意見を賜れば幸いです。

副議長抱負

いとう ひさみち
伊 東 寿 充

議員として2期目の折り返し地点が過ぎ議員活動も7年目を迎えました。およそ2年前となる改選当初には予想しえなかった新型コロナウイルス感染症のまん延と影響は、市民生活や経済活動、あらゆる社会の営みに苦難を与えています。そのような時期に副議長として選任されました重責に改めて気を引き締めると共に、しっかりと議長と議会運営のサポートに努め、市民福祉の増進と市政発展につながる活動として参りたいと考えています。

人流が抑制され様々な活動が制限される中、改めてまちは人ありきであると感じます。人と人の繋がりがこのまちをかたちづくって来たのだということを、当たり前であったはずの場面を通じて思い知らされます。視野が狭くなりがちな今だからこそ、個々の直接的な利害だけではなく様々な立場や状況にある方々の目線を通じて事柄を見つめ、人が自分以外の人やことを通じて、より幸せを感じられるような大きな幸せのリンクを意識した持続性の高い循環を生むことがとても大切なことだと改めて感じます。

そのような思いを一步進めるためにも、兼任する広報広聴委員長にあっては若者や女性、外出に支障がある高齢者の方などを含め、声なき声にも耳を澄ませられる環境を少しでも整えていけるよう知恵を集めて参りたいと考えています。世代や性別、ハンディを超えてより多くの人々が意思決定に参加して力を合わせてまちづくりをしていけるようなきっかけをつくる一助とし、子どもたちに輝かしい地域の未来という多くの可能性を託していけるよう努力して参ります。

皆様には引き続きのご指導ご鞭撻をどうかよろしくお願い申し上げます。

こんな取り組みをしています～所信表明会～

高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考え、市民の福祉の増進を図る取組、議会の抱える課題の解決に向けた取組方針などを全議員に示す所信表明会を行っています。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて広く市民の皆様にお示しすることで、より議会に関心を持っていただき、議会活動をご理解いただく機会の一つと捉えています。

市議会ホームページ
映像情報配信から所
信表明会へ

